

Kansai

会報

No. 116

1993

MARCH



Pettine

目 次

平成5年度定時総会から.....	2・3・4
わがハーモニカ人生.....	5・6
How To Enjoy Ensemble (8)	7・8・9・10
吉森正隆ハーモニカ・リサイタル.....	11
ハーモニカ独奏研究会.....	11
ハーモニカ・アンサンブル・パーティ	12
各地からお便り.....	13
'93 年度日本ハーモニカ賞候補決まる.....	14
全日本ハーモニカ連盟ニュース.....	15

平成5年度関西ハーモニカ連盟 定時総会盛大に終了

さる1月17日・大阪けいさつ会館において開催された平成5年度定時総会は、仲村 眞理事長の新年度の挨拶のあと、新井事務局長から平成4年度の事業経過報告、後藤会計部長から収支決算報告があり、活発な協議が行なわれ、本年度に実施する事業の大綱も次のとおり決定しました。総会終了後は恒例の新年懇親会が華やかに催され、東京から出席の森本恵夫特別顧問のハーモニカ演奏もあって、盛大なパーティとなりました。

【 事業計画 】

- a) 第4回関西ハーモニカ祭の開催
本年度も10月に開催することに決定され、会場の候補が各地域から出され、これに基づいて今後検討を加えることとなった。
- b) 合同演奏会（演奏旅行）の実施
過去の新潟・九州、前回の台湾等に引き続いて、本年度は先ず開催候補地域との折衝を行ったうえで実施することになった。
- c) 研修会等の実施
ハーモニカの調律と修理の要望が出され、内容が初歩から高度にわたる広範囲のこともあり、本年度は初歩の部門から実施することとなった。

平成4年度事業経過

平成4年

- 1月15日(祝) 平成4年度総会及び新年会を、コミュニティプラザ大阪において開催。出席者45名
- 2月17日(月) 常任理事会を大阪郵政会館において開催
○役員の仕事分担について
○第3回ハーモニカ祭の開催について
○台湾での合同演奏会(演奏旅行)の実施について
○全日本ハーモニカ連盟へ和谷・水井・宇佐美の各氏を幹事に推薦決議
- 3月15日(日) 第2回宇治ハーモニカ・スクール発表会の後援
- 4月27日(月) 連盟会報 第112号の発行
- 5月13日(水) 京都ルネサンス・ホールにおいて開催の「クロード・グナデン・コンサート」の後援
- 5月16日(土) 牧野公民館第1回ハーモニカ・コンサートの協力
- 5月17日(日) 第3回宇治ハーモニカ・スクール発表会の後援
- 6月15日(月) 常任理事会の開催
○第3回ハーモニカ祭の開催について
○台湾演奏旅行の実施について
- 7月7日(火) 連盟会報 第113号の発行
- 7月11日(土) 日本ハーモニカ芸術協会関西支部連合会「第6回 アンデパダン・コンサート」の後援
- 8月31日(月) 第3回ハーモニカ祭のプログラム編集と打合わせ会

- 9月14日(月) 常任理事会
○第3回ハーモニカ祭の開催について
○台湾演奏旅行の実施について
- 9月26日(土) ハーモニカ祭会場「ならまちセンター」との打合せ
- 9月30日(水) ハーモニカ祭プログラム及び連盟会報第114号
発送
- 10月11日(日) 奈良市ならまちセンターにおいて第3回ハーモニカ祭
の開催 ソロ演奏者43名
アンサンブル等 15団体246名
- 10月30日～11月2日
台湾演奏旅行(台北・台南・高雄)の実施
[中日口琴音楽交流演奏会]
10/30 台北市内観光
イナイト・パルクにおいて台湾側との交流晩餐会
10/31 高雄市内観光
高雄市中正文化中心至善廳において合同演奏会
11/1 台北市中央日報三樓大礼堂において
合同演奏会 鳥来高砂村等の観光
参加人員31名
- 12月7日(月) 常任理事会の開催
○平成4年度事業経過と決算見込
○平成5年度事業計画について
○新年度総会開催について
- 12月18日(金) 平成5年度総会開催案内状の作成と発送
- 12月30日(水) 連盟会報第115号の発送と総会開催の打合

楽しきかな、わが人生

酒井 涼 爾

第 5 話

貧しい中国人姉弟とハーモニカ

昭和15年の夏のことであった。揚子江岸の九江から西へ40キロほどのところに瑞昌の町があった。県城のあった地方都市であったが、2年前の武漢攻略で奇烈な戦場となり、かって万を算した人口も、今は戦禍瓦礫の町に数百人が残っているに過ぎなかった。私達はこゝにしばし駐屯し、周辺の高岳地帯の残敵掃蕩にあけくれしていたのであった。

中国家屋を改造した私達の兵舎から300米ほど離れたところに、幅20米ほどの川があって、増水期には九江から軍用物資を積んだヤンマー船がやってきた。私達はこゝでよく泳いだり、川へ行く道筋に数戸の農家があって、そこに12、3才の可愛い女の子と10才ほどの男の子がいた。

慣れるにしたがってその姉弟も時々兵舎の囲りに姿を見せるようになったが、他の中国人の子供達のように物欲しそうにせず、いつもはにかんでおずおずとしていた、服装はこの辺の子供と同様に身すぼらしかったが、洗いざらしの中国服は清潔であった。

言葉が通じる私はすぐ仲良しになった。時々加給品の菓子を与えると大事そうに懐ろに仕舞いこんで家へ持ち帰るのであった。中国人の子供達が金の勘定ばかりしたり、銅銭を賭けたり、軍票をせびったりするのが嫌いであった私は、こんな素直な姉弟に残飯を与えて乞食扱いをしたくないので、時折軍服やシャツ、靴下など洗濯してもらおうと、夕方には草むらで乾した洗濯ものをキッチンとたゝんで持ってくるので、そんな時に私は石鹼や余った手拭などを与えるのであった。

岸辺に腰を下して私はハーモニカを吹いて聴かすこともあった。日本の童謡の「ふるさと」などを聴かせても知るはずもない姉弟はじっと耳をかたむけ、はじめて見るハーモニカに目を見張っているのであった。そして私も幼い頃を回想する平和なひとゝきでもあった。

小学校2年の私は女学生だった姉に連れられて楽器店でハーモニカを買ってもらった。その当時珍しかった黒塗りのウツのハーモニカを大切に抱いてねた。翌年の昭和天皇の大典のお祝いの学芸会でステージに立った。それが私とハーモニカの出会いであったのだ。

それから度々姉弟にハーモニカを吹いて聴かすようになったが、弟は口に

は出さないが欲しくてたまらない様子なので、ある日『明天別の口琴帯未送給 你』（あした別なハーモニカを持ってきて君にあげる）と約束した。戦場に持参した6本のうちC調がよいと思ったわけだが、弟は目を輝やかせて大喜びであった。

しかし戦場は非情なものである。その夜出た命令は遠く湖北省漢川地区への作戦出動であった。慌ただしい出動準備をして翌朝作戦地へ向けて出発したが、私は姉弟に会うゆとりなく、約束を果たせない心の痛みのみ、隊伍に加わり、瑞昌の地を去らねばならなかった。

それから半世紀近い昭和60年秋、私は再び瑞昌の地に足をふむことになった。瓦礫の後が整理され立派な町に復興して当時の面影はなかった。あの岸辺も農家も様変わりして、探し出せなかった姉弟の人生も知る由もなかった。

案内してくれた瑞昌県外事部長に、建築中の学校の施設費の一端にとさ、やかな寄付をして胸のつかえを癒したのであった。

関西ハーモニカ連盟常任顧問
関西ハーモニカポップス会長



会 員 往 来

- | | | | |
|------|-------|------|-----------------------|
| 新会員 | 筒井松太郎 | 〒520 | 大津市錦織2丁目9-16 |
| 住所変更 | (新住所) | | |
| | 島田 松男 | 〒562 | 箕面市石丸1-23-26 |
| | (新住所) | | |
| | 眞鍋 仁規 | 〒530 | 大阪市北区天満橋1-2-3
泉尚寮内 |

How To Enjoy Ensemble (8)

白鳥達夫

今までに学んで頂いたように、トリオでは高音がメロディ、和音でハーモニー、そして低音がリズムを主として担当しますので、音楽の芸術的三要素は充足されているのですが、どこかまだ物足りないものが、あるような気がしませんか。

そこで登場するのが高音のパートを下からソフトに支える中音パートです。通常は高音よりオクターブ低い楽器を使用します。バリトンや、アルトホルンまたはクロマチックハーモニカの4オクターブ(16穴)などが適当です。

中音パートが加わったカルテットになると演奏スタイルも色々と変化がつけられるようになります。

高 C	5.	<u>5</u>	<u>6531</u>		1	-	<u>6</u>	-		5	<u>1</u>	<u>3153</u>		2	-	-	0		
中 C	1	-	-	-		1	-	-	-		1	-	-	-	7	-	-	0	
和 C	0	C	/	/		0	F	/	/		0	C	/	/	0	G ₇	/	/	
低 C	1	-	.	0		4	-	.	0		1	-	.	0		5	-	.	0

(星の世界 コンバース作曲)

美しいメロディがきらきらと動きまわっているその下で、中音部は和音進行にしたがって、その和音の中の音を静かに引伸ばしているだけで、大変に地味な役割のように見えますが、実はその逆で深い充実感を作り出しているのです。

和音は三つ以上の音の組合わせですから、上記の場合は最初の小節ではCコード(ドミソ)の中のド、第二小節目はFコード(ファラド)の中のド、第三小節目Cコード(ドミソ)の中のド、そして第四小節目 G₇コード(ソシレファ)の中のシという様に和音の中の一音を選んで、つないでいきます。

ですから最初の小節でCコードの中のミを選んだとすると次のような動きになります。

中 C	C	3	-	-	-		F	4	-	-	-		C	3	-	-	-		G ₇	4	-	.	0
-----	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	--	---	---	---	---	---	--	----------------	---	---	---	---

ただし メロディやベースの動きとダブらないように気を付けていただく必要があります。例えば最初の小節をCコードの中のソで始めて

中 C $\overset{C}{5} - - - \overset{F}{6} - - - \mid \overset{C}{5} - - - \overset{G_7}{5} - - - 0$

とすると、最初の小節でメロディと比べて見ると

高 $\overset{C}{5} \cdot \underline{5} \underline{6 \cdot 5} \underline{3 1}$
中 $5 - - -$

ソの音が双方にダブついて強くなり過ぎます。和音の根音はダブってもいいのですが、第三音、第五音、はなるべくダブらない方がいいのです。

また 第2、第3小節を比べて見ると

高 $\overset{F}{1} - \underline{6} - \mid \overset{C}{5} \underline{1} \underline{3 1 5 3}$
中 $6 - - - \mid 5 - - -$

となって第五小節3拍目から第3小節2拍目にかけて、まったく同じ音になってしまっています。もし中音部が、オクターブ下げて6や5を使ったとしても、これは平行八度と言って非常に強くなり過ぎてしまいます。

それでは次のように、すこしメロディックにした場合はどうでしょうか

中 C C 1 - - - | F 4 - - - | C 3 - - - | G₇ 2 - . 0

こんどは第1, 2小節でベースとの間に平行八度が生じています。

高	C	5. <u>5 6 5 3 1</u>		1 - 6 -		5. <u>1 3 1 5 3</u>		2 - . 0
中	C	1 - - -		4 - - -		3 - - -		2 - . 0
和	C	0 C / /		0 F / /		0 C / /		0 G ₇ / /
低	C	1 - . 0		4 - . 0		1 - . 0		5 - . 0

これを避けるためには2小節目のベースをドの音に変えてしまいます。すなわち 2小節のコード Fの中で通常は根音のファを担当するべきベースが第5音のドをとりますから、その前後の小節のCコードの根音ドとつながって動きをひそめ、中音がコード変化のために働くのを助けます。

中	C	1 - - -		F 4 - - -		C 3 - - -
低	C	1 - - -		1 - - 0		1 - . 0

もう一ヶ所4小節目で高音も中音もレの音になって、これも少し重すぎる感じになっています。3小節の第3拍目からをよく見てみますと、

高	C	5 <u>1 3 1 5 3</u>		G ₇ 2 - . 0
中	C	3 - - -		2 - . 0

3 1 5 3 の中にミの音が2回出ているため、中音のミと重複しており4小節のレに向かって並行八度が隠れています。

そこで 3拍目以下の中音部を次のように動かせば解決できます。

高		C	5	<u>1</u>	<u>3 1 5 3</u>		G ₇	2	-	.	0	
中			3	-	1	-		7	-	.	0	

さて、メロディの4小節目 2 - . 0 と伸ばしているところで、中音部がちょっと動いて見せて、自己の存在を主張することもできます。

高	C	5.	<u>5</u>	<u>6 5 3 1</u>		F	1	-	6	-		C	5.	<u>1</u>	<u>3 1 5 3</u>		G ₇	2	-	.	0	
中	C	1	-	-	-		1	-	-	-		1	-	-	-		7	4	3	2		

演歌などの合の手がこれに当たる訳ですね。

以上のように中音部はメロディに対して、静かに和音の中の1音を選んで蔭の引立て役をするのも一つの仕事ですが、その他にメロディと同じ音価（同じ形のリズム）で動いて和音を確立して行く役も引受けます。たとえばメロディの三度下（正確にはオクターブ低い楽器ですから十度以下）で

高	C	5.	<u>5</u>	<u>6 5 3 1</u>		F	1	-	6	-		C	5.	<u>1</u>	<u>3 1 5 3</u>		G ₇	2	-	.	0	
中	C	3.	<u>3</u>	<u>4 3 1 5</u>		6	-	4	-		3.	<u>5</u>	<u>1 5 3 1</u>		7	-	.	0				

メロディのお伴^{ばん}をして動き廻ることもあるのですが、正直に3度下の音をなぞっている面白味に欠けるし曲によっては音域的に低すぎたり高すぎたりします。そこで

高	C	5.	<u>5</u>	<u>6 5 3 1</u>		F	1	-	6	-		C	5.	<u>1</u>	<u>3 1 5 3</u>		G ₇	2	-	.	0	
中	C	3.	<u>3</u>	<u>4 3 5 3</u>		4	-	1	-		1.	<u>3</u>	<u>5 3 1 1</u>		7	-	.	0				

こうすれば中音部もメロディックになって演奏も楽しくなります。

吉森正隆ハーモニカ・リサイタル

- と き 平成5年3月26日(金) 午後6時30分開演
- と ころ 大阪市北区中之島 住友中之島ビル 5階
大阪府立文化情報センター 多目的ホール
- 主 催 関西ハーモニカ・ポップス友の会
後 援 全日本ハーモニカ連盟・日本ハーモニカ芸術協会
ニッポン・ハーモニカ・クラブ
- 第一部 ● 独奏 吉森 正隆
*春の歌メドレー *早春賦 *花かげ
*朧月夜 *端唄春雨 *さくらのワルツ
- 第二部 ● クマチック・ハーモニカ独奏 吉村 則次
*鳥の歌 *星に願いを
- ジョリー・カルテット
*クワイ河マーチ *ムーンライト・セレナーデ
- バッカス・クインテット
*春風とオオ・スザンナ *青い山脈
*夢去りぬ
- 第三部 ● 独奏 吉森 正隆 *波浮の港 *新内流し
*越後獅子 *出船夜想曲
- 入場料 1,500円 (友の会前売り一人2枚まで¥1,000)
郵便振り込み(下欄と同じ)のこと

復音ハーモニカ独奏研究会

- 主 催 関西ハーモニカ・ポップス友の会
日本ハーモニカ芸術協会和泉支部
- 日 時 平成5年6月26日(土) 午後1時30分から4時30分まで
- 場 所 大阪市北区中之島 住友中之島ビル5階 大阪府立文化情報センター
- 担当講師 吉森正隆 ほか 日本ハーモニカ芸術協会公認指導員
- 定 員 先着、お振り込み 25名
- 会 費 1,000円 (コーヒ代込み)

セミナー室ですので、何人も一緒に吹くことは、出来ませんので、一人一曲の演奏を原則とし当日出席の方で、その曲を得意とする方から、アドバイスを受けます。また、公認指導員からワンポイントレッスンを受けられます。

会費振り込み先 郵便口座 大阪7-71352 加入者名 関西ハーモニカ・ポップス友の会
[連絡先] 関西ハーモニカ・ポップス友の会 事務局 吉森 ☎0725-43-8720

ハーモニカ・アンサンブル・
パーティー

と き 平成5年3月28日 午後1時 開演
 ところ 大阪府交野市天野が原町5-5-1 (交野市保健福祉総合センター)
 ゆうゆうセンター 多目的ホール
 主催 ハーモニカ・アンサンブル『ザ・バックス』
 後援 関西ハーモニカ連盟

【プログラム】

- 奈良ハーモニカ同好会
 *三重奏曲 (モーツァルト作曲) *マイウエイ (J.レバ作曲)
- 洛水ハーモニカ・カルテット
 *みかんの花咲く丘 (海沼 実作曲) *愛のオルゴール (フランク・ミルズ作曲)
- 宇治ハーモニカ・クラブ・鳳凰
 *アニーローリー (スコット作曲) *スワニー河 (フォスター 作曲)
- 宇治ハーモニカ・アンサンブル
 *春のおとずれ (宮城道雄・メテルソフ・内田元・滝廉太郎作曲)
 *夕焼やけねんね (草川 信・杉山長谷夫作曲)
- 牧野ハーモニカ・カルテット
 *月の砂漠 (佐々木すぐる作曲) *故郷の廃家 (ヘイス作曲)
- 牧野ハーモニカ・アンサンブル
 *乾 杯 (長瀬 剛作曲) *埴 生 の 宿 (ビショップ 作曲)
- スモール・バックス
 *小雨降る径 (ハリー・ピナル 作曲) *浪路はるかに (P.Wenrich 作曲)
- ザ・バックス
 *コンドルは飛んで行く (P.Simon 作曲) *旧 友 (タイケ作曲)

【特別ゲスト出演】

大矢ハーモニカ・ファミリー

- * 小犬のワルツ (ショパン作曲)
- * おもちゃの兵隊の行進 (イエッセル作曲) 他

エド・ハーモニカ 大矢 博文 バス・ハーモニカ 吉田 俊輔 クラマチック・ハーモニカ 神尾佳世子

各地からお便り

この人は誰でしょう？

みんなの

広場

心なごんだ
ハーモニカ

主婦 岡崎 孝子 54

(大阪市淀川区)

大阪城公園へ梅の花を見に出かけた。七分咲きの紅白梅の枝には、それぞれ白い名札が下がっていた。サクの中に入れてカメラを向けている人、座り込んで絵筆を執っている人もあ

って、梅園は大勢の人でにぎわっていた。

そんな中にハーモニカを吹いているおじさんがいた。譜面台を立て、ハーモニカにマイクを取り付けて、スピーカーから梅園中になつメロを流していた。

梅園を回って来た人たちは「ああ、このおじさんだっただの……」と演奏をしている人を見つけてホッと

していた。

中には「三年前、あなたのハーモニカに合わせて歌ったことがある」といっていたおじさんもいた。「あ

の人七十ぐらいやるか。昭和初期の曲が多かったな……」と話していたおじさん

もいた。

春とはいえ、まだ吹く風は冷たかったのに、シャツ姿で、足で拍子を取り、時折上体を前に倒して片足を上げたりにして、ハーモニカを吹く姿はなかなかダンディだった。

思わぬハーモニカ演奏に、こんな趣味の楽しみ方もあるのかと感心した。梅園を訪れた人たちに与えた影響もさぞ大きかったことだろう。

「この記事は平成三年三月二十一日の読売新聞に掲載されたものです」

関西ハーモニカ祭 初出演に拍手わく

中之島教室のみなさん

第三回関西ハーモニカ祭が十月十一日、奈良市のならまちセンターで開かれ、中之島センターの「ハーモニカ合奏を楽しむ」教室のみなさん十五人が初出演しました。

同教室は九一年七月に開講、関西ハーモニカ連盟常任理事・白鳥達夫先生のご指導で見事「ACCハーモニカ・アンサンブル」を結成、今回、四百人を超える聴衆の前に「真夜中のギター」「夏の思い出」(白鳥達夫編曲)を演奏、拍手を浴びました。



関西ハーモニカ祭で演奏する「ACCハーモニカ・アンサンブル」のみなさん(奈良市ならまちセンターで)

全日本ハーモニカ連盟ニュース

常任理事会議事録

1993.2.24.
18:30~21:00

於「全日本ハーモニカ連盟事務局」

出席者 真野・斎藤・大矢・鶴田・森本・吉野・池田・奥田・木田・佐藤(福)・
崎元・寺沢・林・古川・間中・町田・佐藤(俊)・竹田

議 題

「ハーモニカ・フォーラム '93」関連事項

1. '93年度「日本ハーモニカ賞」候補の決定。

敬称略

【特別賞】

☆ 新井 克 輔	〒176	東京都練馬区豊玉北1-13	03-3991-7513
【日本ハーモニカ賞】			
★「浜名幼稚園」	〒431-02	静岡県浜名郡新坂町浜田76	053-592-0850
★「二宮めぐみ幼稚園」	〒259-01	神奈川県中部二宮町二宮92	0463-71-0570
★「亀田幼稚園」	〒142	東京都品川区中延6-1-3	03-3783-7211
★「アザレア・カルテット」(神奈川)		柳川優子(19才)・井上初美(18才)・ 岩部道央子(18才)・小林希代江(18才)	(大矢)0462-21-5930
★「リトル・フラワーズ」(神奈川)		竹内直子(17才)・浜田令子(17才)・ 鹿沢さつき(17才)	(大矢)0462-21-5930
★「レインボー・カルテット」(愛知)		前田昌紀・岩田 洋・佐々野晃夫・丹羽勝利	(成田)052-622-1597
★ 綾 部 功	〒864	熊本県荒尾市荒尾2320-107	0968-63-0264
★ 伊 藤 拾 郎	〒753	山口県山口市吉敷佐畑1548	0839-24-2486
★ 内 藤 田 三 郎	〒230	神奈川県横浜市中区青沢町17-10	045-501-8888
★ 岡 田 得 三	〒203	東京都東久留米市前沢1-3-5	0424-74-8257
★ 仲 村 眞	〒545	大阪府大阪市阿倍野区三好町2-6-10	06-624-5606

【感謝状】

☆ 小 沢 昭 一	〒150	東京都渋谷区神宮前6-25-8-319	03-3406-5581
-----------	------	---------------------	--------------

2. 人事案の決定。

【新入会員】

★ 幹 事 醉 山 義 則	〒433	静岡県浜松市上島1-8-55	053-471-4341
★ 幹 事 山下 義 子	〒173	東京都板橋区神宮55-5山田邸内	03-3961-2524
★ 幹 事 柴 田 克 秀	〒372	群馬県伊勢崎市新栄町2217-3	0270-25-7920
★ 幹 事 今 井 秀 夫	〒321-01	栃木県宇都宮市西川田南1-26-14	0286-59-7305
★ 幹 事 横 山 力 明	〒123	東京都足立区梅田5-22-7	03-3886-7828
★ 幹 事 斎 藤 昌 紀	〒340	埼玉県草加市瀬崎町1340-6	0489-22-5702
★ 幹 事 前 飯 尾 恭 一	〒491-01	愛知県一宮市大毛東新開14	0586-51-5108
★ 幹 事 森 好 弘	〒500	岐阜県岐阜市祈年町9-11	0582-45-9544
★ 幹 事	〒816	福岡県福岡市南区高宮5-9-1	092-525-0059
★ 幹 事 飛 田 保 雄	〒611	京都府宇治市広野町寺山17-79	0774-41-6568
★ 幹 事 村 越 克 司	〒949-23	新潟県中頸城郡妙高村大字関山1085	0255-82-2878
★ 幹 事 和 谷 泰 扶	〒600	京都府京都市下京区7条西洞院西入ル	075-371-7690
★ 幹 事 渡 辺 昇	〒250	神奈川県小田原市風祭877	0465-23-2699
★ 幹 事	〒669-23	兵庫県多紀郡山崎町東新町80	0795-52-0171

【役職移動】

☆ 幹 事 → 常 任 理 事	吉 村 則 次 (千葉県)
☆ 理 事 → 常 任 理 事	松 田 幸 一 (埼玉県)
☆ 幹 事 → 理 事	西 武 龍 夫 (長崎県)
☆ 幹 事 → 理 事	岩 田 洋 (愛知県)

3. 連盟関連下記テーマについて、今後の活動報告を確認する。

※詳細は、資料も膨大なので項目のみを列挙。

- ① ハーモニカ渡米100周年事業企画概要
- ② 《国際ハーモニカ・フェスティバル'95》案
- ③ 《ハーモニカ・フォーラム'93》案
- ④ 《ヨーロッパ・ツアー'93》案
- ⑤ 《学生ハーモニカ連盟設立》案

4. 「ハーモニカ・フォーラム'93」開催日が、5/3日(月)於『上野文化会館・大会議室』にて、正式に決定されました。

※当初は、5/2日の予定で計画していましたが、会場都合により、一日延びました。関係者の皆様にご連絡下さい。

ハーモニカ・アコーディオン

最新刊 最新版

第 144 号

H-ハーモニカ・A-アコーディオンの略号

無料配付

毎月二回発行【1日】 【15日】

H5. 3. 1.

月日	曜	略	場	所・時間	題・内	容	問い合わせ先電話
3月6日	(土)	A	尼崎市『尼崎総合文化センター』	7PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	06-487-0810	事務局
3月6日	(土)	H	ラジオ文化放送『あさむすびこから』	5AM~	『ハーモニカの話題・千葉市在住の永井清治氏出演』	043-252-7334	永井
3月7日	(日)	H	仙台市『青年文化センター』	1:30PM~	『第2回宮城県産のハーモニカ祭』	0220-22-2255	佐々木
3月7日	(日)	H	吉祥寺サンロード『丸石楽器』	1PM~	『吉野ハートモニカ・デモ演奏・森元陽子出演』	0424-81-4160	森元
3月7日	(日)	H	墨田区『すみだリバーサイドホール』	1PM~	『墨田ふれあい演芸会・森本よしおハーモニカ演奏』	03-3802-1772	事務局
3月7日	(日)	A	箕面『メイプルホール』	2PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	0727-21-2123	ホール
3月9日	(火)	H	群馬県勢多郡大畑町『合同庁舎』	9AM~	『婦人学級ハーモニカ・コンサート群馬ハーモニカ協会』	0270-65-7191	中島
3月9日	(火)	A	福山市『オリエント美術館』	6:30PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	086-232-3636	美術館
3月11日	(木)	H	相模原市『谷口幼稚園』	9:30AM~	『母と娘の為にコンサート・岩崎岸トトリオと森本よしお』	0462-21-5930	大矢
3月13日	(土)	H	江東区『女性センターホール』	3:30PM~	『第2回パルティエ・サイ祭・ゲスト出演森本よしお』	03-3802-1772	事務局
3月13日	(土)	H	よみうりテレビ4『ウィークエンド』	9:00AM~	『ハーモニカの紹介コーナー・全国各支局ネットにて』	03-3802-1772	事務局
3月14日	(日)	H	大田区入新井『特別出張所3F』	11AM~	『カラオケ・ハーモニカ教室・五線譜と数字譜について』	03-3953-1829	古川
3月15日	(月)	H	NHK総合第1テレビ『くらしのジャーナル』	8:30AM~	『秋田県能代市・小笠原晴海氏ハーモニカの話題』	0185-52-1870	小笠原
3月16日	(火)	A	名古屋市『スタジオリンデ』	7PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	052-203-4188	リンデ
3月17日	(水)	H	福岡県筑穂町『商工会館』	10AM~	『大石昌美ハーモニカ・コンサート』	092-581-5320	大石
3月18日	(木)	A	お茶の水『カザルスホール』	8PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	03-3291-2525	事務局
3月19日	(金)	H	地下鉄東西線門前仲町『門仲天井ホール』	7PM~	『絢子と仲間たちによるハーモニカ・コンサート』	03-3641-8275	天井
3月20日	(土)	H	神戸『パンスホール』	1PM~	『F. I. Hハーモニカ決勝ライブ・コンサート』	03-3862-1641	F1H
3月26日	(金)	A	大阪市『フェスティバルホール』	7PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	075-222-0331	京交団
3月28日	(日)	H	新宿区『新宿カーニバル』		『シルキー・トーン&ザ・ノーブルズ・ジョイントコン』	03-3338-9367	記念館
3月28日	(日)	A	沼津市『若山牧水記念館』	6:30PM~	『御喜美江アコーディオンワークス1993』	0559-62-0424	記念館
3月28日	(日)	H	大阪府交野市『ゆうゆうセンター』	1PM~4PM	『ハーモニカ・アンサンブル・パーティ楽しく愉快に』	0720-92-8417	七野
3月28日	(日)	H	大分県白竹市『白竹城跡公園』	1PM~	『童謡列車で早春歌を唄う・大石昌美と門下生出演』	092-581-5320	大石
3月28日	(日)	H	土浦・荒川沖『さんびる長崎屋内』	1PM~	『ハーモニカ・デモ演奏&トーンハーモニカセール内里・飯谷』	0298-42-8323	ホブラ
4月4日	(日)	H	吉祥寺サンロード『丸石楽器』	1PM~	『吉野ハートモニカ・デモ演奏・森元陽子出演』	0424-81-4160	森元
4月10日	(土)	H	港区赤坂『ジャズクラブ・ケイ』	6PM~	『ザ・ノーブルズ&ラス・セニョーラス ライブ』	03-3586-5151	ケイ
4月22日	(木)	H	西武新宿線井草『喫茶・セビア』	6PM~	『ザ・ノーブルズ・ハーモニカ・コンサート』	03-3394-4151	セビア

【ハーモニカ・テレホンサービス】いつ・どこから・どなたでも・ダイヤルしてお楽しみ下さい。

【0422-21-4929】3月『キャトル・ラバンニカセット・テープ発売記念』曲目 うれしいなまつり

【0299-83-4929】3月『町田明夫・多重録音クロマチック・ハーモニカ』曲目 ドナウ河のさざなみ

- ☞【岩崎重昭ハーモニカ編曲集本①②刊再版完成】各¥2,500。(税別)
全国各地の愛好者から、お問い合わせ頂き大変お待たせ致しました。
- ☞【雪の宵・伊藤拾郎ハーモニカの世界】CD限定発売 価格¥2,800(送料込み)
わが兄・中原中也、忠郎、呉郎に捧げる〜(曲目)朝の歌/雪の宵/中国漫歩/アラビアをゆく/田園素描/宵待草/セレナーデ/お江戸の子守唄/行商人
- ☞【アコーディオン新刊本の紹介】ご注文お問い合わせは下記アコ連盟事務局へどうぞ…
★【初心者のためのアコーディオン教本】池田輝樹著 価格 ¥1,800円(税別)
《理論編》楽器の種類/記譜法/楽譜の知識…ホカ《実技編》演奏の姿勢/左手ボタンの運指法/バスとコードの練習/右手の練習/両手の練習ホカ
《練習曲》かっこう/アニーローリー/河はよんでる/枯葉/バリの空の下ホカ全35曲
- ★【アコーディオン・ラブ・サウンズ・ベスト:1】横山太郎著 価格 ¥2,000円(税別)
《曲目》ラ・メール/サン・トワ・マミー/ララのテーマ/愛のオルゴール/イエスタデイ/星に願いを/昂/川の流れるように/花摘みのタンゴ…ホカ全27曲
- ★【アコーディオン・ラブ・サウンズ・ベスト:2】横山太郎著 価格 ¥2,000円(税別)
《曲目》愛の讃歌/ろくでなし/マンマ/オリーブの首飾り/マイ・ウエイ/知りたくないの/エーデルワイス/贈る言葉/プレーメンへ行こう…ホカ全27曲
- ☞【ハーモニカ・アンサンブル曲集・新刊本の紹介】鶴田亘弘著 価格 ¥2,800円(税別)
《曲目》オリーブの首飾り/愛よ永遠に/マイファニーバレンタイン/いい日旅立ち/リバーサイドホテル/ボルカメドレー/ハバナギラ/みじかくも美しく燃え/ザマニアラブ/津軽海峡冬景色/60ポップスメドレー
◆既発売カセット・テープと同一でトリオのバイブルとして活用下さい。
- ☞【佐藤秀郎先生三回忌追悼演奏会記録ビデオ完成! (於4.12.8)】
申し込み方法 〒167東京都杉並区南荻窪2-7-14 (佐秀会本部) 03-3332-0228
二巻1組 ¥10,000 (送料込み)

資料提供 全日本ハーモニカ連盟・全日本アコーディオン連盟
〒116 東京都荒川区西日暮里2-37-22 電話03-3802-1772 FAX03-3802-2107

◎このニュースを毎回ご希望の方は、62円切手を貼った宛先迄記入済みの封筒を適当数、事務局宛て戴ければ、都度送ります。お預かりした封筒の最終には、切れた旨ご案内致します。

関西八一七二カ連盟
平成5年3月25日発行
第116号

発行責任者 理事長 仲村 眞
〒545 大阪市阿倍野区三明町2-6-10
発行者 事務局長 新井 善久
〒600 京都市下京区花屋町通西洞院
東入 563
編集者 上野 忠彦
〒576 交野市星田 8-2-14

Kansai

会報

No. 117

1993

JULY



関西ハ一モニカ連盟 第117号
KANSAI HARMONICA FEDERATION 平成5年7月15日発行

目 次

仲村 眞理事長日本ハーモニカ賞を受賞	2
第4回関西ハーモニカ祭の開催	3
春夏秋冬……夏	4・5
楽しきかな、わがハーモニカ人生	6・7・8
数字譜で綴られた「青い山脈」	9
How To Enjoy Ensemble (9)	10・11・12・13
ビート・ピーダスン歓迎レセプション	14
井上隆寿追悼&小林ファミリーの集い	15
会員からのお便り……藤本初之助	16
「宇治 '93 Music フェスティバル」に宇治H.スクールが出演	17
第7回北千里ファミリー・コンサート	17
まちなみコンサートと、京都「楽しいコンサート」	18
第7回アンデパンダン・コンサート	19



仲村 眞 理事長

『日本ハーモニカ賞』

を受賞

平成5年5月3日、東京で開催された《ハーモニカ・フォーラム'93》において、本連盟理事長仲村 眞氏が関西地区におけるハーモニカ音楽の普及・発展に貢献されたことにより、主催者である全日本ハーモニカ連盟会長真野泰治氏から「日本ハーモニカ賞」が授与されました。

この賞は、わが国のハーモニカ音楽の発展に尽くしたり、ハーモニカを通じて社会に貢献した個人・団体に毎年与えられるもので、1978年に全日本ハーモニカ連盟が制定、これまでに153件の受賞者がありました。コンテスト以外に与えられるハーモニカの賞としては世界で唯一のものであります。

なお、仲村理事長のご尊父である故仲村洋太郎氏は、理事長と同じ医師であって、ハーモニカ音楽に絶大な情熱を燃やされ、その偉大な功績に「日本ハーモニカ賞」が贈られていました。

ここに、ご父君の意志を受け継ぎ、ハーモニカ音楽の普及に徹しておられる仲村理事長に対し、心からお祝いを申し上げます。

第4回関西ハーモニカ祭

出演者募集

本連盟主催の第4回ハーモニカ祭が、本年10月に開催が決定しました。場所は大阪府和泉市の市立コミュニティーセンターです、新しい素晴らしいホールで開催されることになりました。前回に優るとも劣らない盛大な催しとするため、会員諸氏の多数のご出演をお願いいたします。

開催日までまだ日はありますが、今から練習に励んで下さい。出演申し込みの要領等は次のとおりです、期日までに所定のお申し込みを完了して下さい。

開催日時 平成5年10月10日(日曜日) 午前10時～午後5時

場 所 大阪府和泉市府中町2丁目7-5
(JR阪和線和泉府中駅下車、徒歩和歌山方面へ5分)
和泉市コミュニティーセンター

名 称 第4回関西ハーモニカ祭

主 催 関西ハーモニカ連盟

後 援 全日本ハーモニカ連盟
日本ハーモニカ芸術協会
ニッポンハーモニカクラブ
FIH世界ハーモニカ連盟日本支部

【出演者募集要領】

- 内 容 独奏・重奏・アンサンブル・合奏の各部門
独奏・二重奏～4分以内、
トリオ以上アンサンブル・合奏等～8分以内
- 出演資格 本連盟会員のどなたにも出演していただけます。
この機会に入会された方にも出演していただけます。
- 出演負担金 ソロ部門・二重奏 7,000円を負担していただきます。
トリオ以上のアンサンブル・合奏部門
10,000円を負担していただきます。
- 申込方法 郵便振替払込用紙に詳細ご記入のうえ負担金とともに、最寄の郵便局へお払い込み下さい。
(郵便振替払込用紙は郵便局にも備付けております、グループ等で記載事項の多い場合は、明細を事務局へお送り下さい。)
- 郵便振替払込番号等 □座番号 大阪5-115527
加入者名 関西ハーモニカ連盟
- 申込締切日 平成5年8月31日

春・夏・秋・冬

夏

斎藤寿孝

「宵待草」から日本人の情緒を知る

待てど暮らせど来ぬ人を、宵待草のやるせなさ……という歌には、夏の夕べに咲いて翌朝にはしぼんでしまう、はかない運命の宵待草と自分のそれとを重ね合わせた比喩があるわけですが、日本人にはこういう感傷がよく理解できますから、あまり深く追究しません。しかし、西欧人の合理主義はちょっと違います。私の友人のフランス人（たいへんな日本通です）にこの話をしたところ、早速彼は私にレポートしてくれました。それによるとこうです。まず、宵待草（よいまちぐさ）ではなく待宵草（まつよい草）というのが正式呼称だそうです。それから月見草と待宵草とは違うんだそうです。太宰治は「富士には月見草がよく似合う……」などとその小説に書いていますが、あれは実は大待宵草と言うんだそうです。月見草は野生せず、花も白いらしいのです。（興味のある方は調べてみて下さい）

われわれの宵待草＝待宵草＝月見草というイメージは、このレポートのために根底から崩されてしまいました。彼が得意になっているところに私は言いました。「あいまいなものを明確にせず、触れないところに日本人の情緒がある。それがわからないうちは、まだ君の日本研究も本物ではないね……」

ちなみに「宵待草」という曲は、故宮田東峰先生の十八番でした。

あなたの「昂」を見つけよう

スバルを外国語だと思っていらっしゃる方もあると思います。ところがこれは立派な日本語なのです。漢字では「昂」と書きます。牡牛座にある肉眼では六つある星の名前です。

これとよく似た字に「昂」（こう）という漢字があります。意気軒昂など気力の高まる様、激昂など物価の上がる様を表わす言葉です。

いま皆さんが練習していらっしゃる谷村新司の「昂」は、楽譜によっては「昂」となっているものがありますが、これはあやまりです。

星の名前にはギリシャ語が多いようですが、日本語も結構多いようです。特に星座の名前は全国にいろいろの和名があることが野尻抱影という人の研究によってわかりました。

例えばカシオペア座を「イカリ星」と呼んでいたり、双子座のカストール、ポルクスの二星は「かれいの目」と呼ばれたりしています。

だんだん星の美しく見える季節になってきました。天でも仰いでどこに「昂」があるのか見つけてみましょう。星に関心を持ちましょう。あなたの「昂」はキットその輝きを増すことでしょう。

「夏は来ぬ」考

五月になると、ときどき夏を思わせるような暑い日差しを感じることがあります。そういう日が続くと、夏が近いことに気付きます。五月は皐月（さつき）と呼ばれますが、旧暦では卯月（うづき）となり「卯の花の匂う垣根にほととぎす早もきな



きて、忍音もらす夏は来ぬ……」という佐々木信綱作詞の歌をすぐ思い浮かべます。

この歌の作曲は小山作之助という方で、明治14年から45年ぐらいの間に「敵は幾万」「漁業の歌」「川中島」などの歌も作っておられます。当時の音楽的状况は今日とはまったく異なり、街には邦楽の音が流れ、洋楽は小学校で教える唱歌しかありませんでした。その唱歌も日本人にすぐ歌えるように日本の因習的な音階で作られました。

この「夏は来ぬ」もペンタトニック、いわゆるヨナ抜き音階のメジャーですが、はじめの部分に4（ファ）を使っているところが、特徴的です。傑作として後世に残る所以でしょう。

音楽家を作ったカラーフィルム

1930年、アメリカのフィルム・メーカーのE. コダック社はカラー・フィルムの開発を手がけていました。この研究室からは、いつも器楽合奏や合唱の音が聞こえてきました。

そして5年の月日が経ちました。E. コダック社は、世界で最初のカラー・フィルムを発表しました。開発者はニューヨークから来たゴドフスキーとマネスという二人の若い音楽家でした。二人は演奏活動の暇に素人ながら研究を続け、その才能とノウハウを買われてE. コダック社から研究室へ招かれたのでした。

二人は音楽家としては名前を残しませんでした。写真の歴史には永遠にその名を刻んだのでした。6月1日は「写真」の日だそうです。

琴瑟相和す

瑟という楽器をご存じでしょうか？ 古代中国の楽器で、今はもう出上品としてその面影を忍ぶしかありませんが、その楽器を復元して鳴らしてみようという試みが7月にありました。早速、国立劇場へ行ってきました。

外見は琴の幅広のような感じで、長さは約1米、弦は25弦あります。これらの弦は内（9弦）、中（7弦）、外（9弦）、の三つに分けられ、手前に高く向こうへ行くに従って低く調律されています。音高は柱（じ）を立てて調節します。これは今日の箏と同じです。（ちなみに、日本で琴とっているのは箏のことで、琴には柱がありません）外弦と内弦は右手で弾き、中弦は左手で弾きます。これが後に二つに割られて箏となったとも言われています。

一本の弦で一音しか演奏できない瑟に対して、琴は一本の弦で複数の音を弾くことができます。お互いの長所を出しあい、短所を補い合うことから「琴瑟相和す」という言葉が生まれました。

全日本ハーモニカ連盟理事長
日本ハーモニカ芸術協会本部長
関西ハーモニカ連盟特別顧問

楽しきかな、わがハーモニカ人生

酒井 涼 爾

第 6 話

中国の平和な村に鳴りひびいた ハーモニカとラッパの競演は村の珍事だった

中国人姉弟に約束したハーモニカを渡す間もなく、急襲作戦に出動の命令を受け、虎ヒゲの部隊長佃大佐より『全員生還を期すな』とハッパをかけられ、いさゝか悲壮な覚悟で瑞昌を出発したのは昭和15年の初秋であった。

九江から軍用船で揚子江を遡江して漢口に上陸、秋空の下四日間の行軍で湖北省の南河渡に到着した。前の警備部隊が漢水作戦に参加するので、我々が警備を引継いだのであった。

南河渡は平原水郷地帯の戸数五百ほどの小さい村で、私達は中隊指揮班と1個小隊の僅か60名の兵力で、南に50キロの沔陽地区に蟠踞する敵128師(約5千)と対峙しているわけであるが、攻めてくる気配もなく、農産物(棉花、落花生など)に恵まれ、豊かなせいか村人はのどかで落ち着いていて平和で、私達は生還を期さないどころか、半歳にわたる気楽な別荘ぐらしを味わうのであった。(そのくらしぶりは次号に)

そうすると、日夜戦闘つづきの前任地ではハーモニカを手にする事もできなかった私も携行してきた六本のハーモニカを取出して口にするようになった。

私は情報宣撫の責任者として、村の行政指導から医療活動まで、平和なればこそその仕事で忙しかったが、民衆相手の医療活動は人気があり、中国家屋を改装した臨時診療所の前に集まった村人は、はじめて見る私のハーモニカに奇異の目を見はり、分からない曲にも「好々」と相好をくずし歓声をあげるのであった。

聞き伝えた近在の農民も押しかけてきて門前市をなし、二人の衛生兵が作った保革油(靴油)と齒磨粉を練りませた皮膚病の妙薬? やクレオソート(征露丸)の高貴薬? も、なぜか効果靦面で礼として鶏、卵、豚肉、老酒などが運び込まれるなどで、ハーモニカの客寄せ効果は絶大であり、宣撫活動は好調であった。私が村内を歩けば“口琴大人”と呼ばれて中隊長に勝る良い顔になってしまった。

そこに九江の旅団本部で四ヶ月の喇叭手修業を受けていた熊倉保恵一等兵が、指揮班に帰って来た。

彼は私と同じく高田連隊に入隊した同年兵であるが雪の越後から東京に出て、

銀座界隈の風呂屋の三助をしていたと言う。人がよくて割軽な彼は誰からも「熊さん」と呼ばれて愛された。ズングリと小柄ではあるが桜色のよい肉付きをしていて、江西の山岳戦でも、弱った仲間の装具を担ぎ、疲れを知らぬコマ鼠の如く岩山の間を駆け廻っていた。

そんな熊さんに

『お前何をしてそんな体力をつけたり、きれいな肌になったりしたのだ』と聞くと、熊さんは特徴の大きい鼻の穴をますますふくらまして

『銀座の風呂屋で女湯の仕舞い風呂に毎晩つかっちゃったもんナ。何しろ一日何百人というカフェやバーの女のエキスになった湯は、どんな薬よりも精力をつけるからな』

と尻上がりの変てこな江戸弁を使いながらニヤリと目尻を下げるのであった。

五年間に一万人の銀座の女の背中を流してきたと自慢する熊さんは、さすがに若い年令に似合わず女体に関するうんちくは深く、どこまで本当か分からないが夜な夜な微に入り細に亘る女体の話に血気ざかりの私達は悩まされるのであった。

その熊さんが喇叭手修業を終え中隊に帰ってきた第一声は

『俺は小学校しか出ておらんすけ、初年兵の時の学科は最低だったろも、ラッパの修業では、音の良いのは旅団で一番だったば』

と越後弁にもどり、大きい鼻の穴をひくつかせて、日頃の法螺話に劣らぬ大きい法螺ラッパを吹いた。しかし小さい警備隊ではラッパを必要とせず、いつも真鍮のラッパをピカピカに磨きながら髀肉の咬をかつこっていた熊さんにも、遂にラッパを吹く日がやってきた。

夜になると女体ならぬ糸原中隊長や黒岩准尉の肩揉みをしていた彼は、そこで隊長らを口説いたらしく、許可を揉み取ったのだ。

指揮班のある中国家屋の前で、朝日を浴びて一人起立した熊さんは、三百米も離れた丘の上の廟にある畑小隊宿舎に向けて、威勢よく起床ラッパを吹き鳴らした。

さすがに自慢するだけあって、秋の澄んだ空気を切って、静かな村に鳴り響くラッパの音色は嚙喉として見事であった。目を見張る私達に、吹き終った熊さんは『どんなもんだい』と言わんばかりに顔を紅潮させ、大きい鼻の穴をいっそう大きく膨らませた。

一番驚いたのは村人であった。小さい警備隊のいる村ではラッパを聴いたこともなければ、話題もない平和な村に突然のラッパの音は、まさに村開闢以来の一大珍事にちがいない。村人は何事かと屋外に飛び出したり、指揮班の建物を覗いたりした。

このラッパの話は、忽ち湖北平原の周辺の集落々々にも伝わったのであろう。そして僅か60人足らずの小さい警備隊が、何百人かの大きい部隊のように敵側に

伝わったに違いない。

その日から熊さんは、赤い紐のついたピカピカに磨いたラッパを肩に下げて、村のメンストリートを意気揚々と歩くようになった。そして私に

『オメさんはハーモニカ大人と言われて人気があるろも、オレはラッパ大人と言われて村の人が頭を下げるんだ。中さん（中隊長）よりもエレイに違いないな』

と得意満面で言った。以来私達はクラッパの熊さん〆の尊称を奉ったのである。

ハーモニカで診療所前に門前市をなした私、ラッパで村人のド肝をぬいた熊さん、そのどちらが平和に貢献したかは比べようもないが、私はハーモニカが音量ではラッパに及ばなくとも、価値の大きかったことを今も信じている。

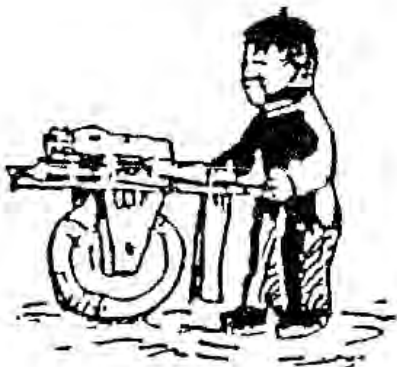
半年にわたるこの地の警備はあまりにも平穩で極楽であった。そして二月初旬の、こゝから南へ10キロの西流河の戦闘（中隊長伝令が戦死）を最後に、再び地獄の戦場江西省に戻った。そして私はやがて後方に下がって軍の学校に入り任官、原隊とも熊さんとも別れるのであった。南河渡の村人も再びラッパの首をきくことはなかった。

あれから半世紀のいま、もし熊さんが生きておれば、孫たちを集めて『ラッパで日本軍を動かした』ぐらいの大ボラを吹いているであろう。

私は戦後20回ほどの中国旅行の度に、懐かしい南河渡の村への再訪を念願したが、遂に平成三年秋実現した。村の石畳のメンストリートは舗道され、新しい家も増え、村人の年代も変わった。しかし黒い屋根瓦に白い壁の村の家屋はそのままであった。たゞずんで目を閉じた私の臉に、あの村人の顔が、熊さんの顔がはっきりと浮かんで来て、ジーンと目頭が熱くなるのであった。

関西ハーモニカ連盟常任顧問

関西ハーモニカポップス会長



数字譜で綴られた

『青い山脈』

寝床の中でNHKのラジオ深夜便を聴いていたら、作曲家の服部良一さんがこんなことをしゃべっていた。

「『青い山脈』は、大阪の梅田から京都までの電車の中でつくった」、「車窓から山並みを眺めているうちに曲想が浮かんだ。急いで手帳を取り出して、ハーモニカの略譜で書き留めた。

6 0 3 2 3 3 4 3

というわけですね。」

ご存じの方もおられるだろうが、ハーモニカの略譜は音階を数字で表わす、「頭の中ではピアノが鳴っているが、メモは数字。車内は買い出し客やヤミ屋で満員。五線譜など取り出したら好奇の目が集まってせっかくの曲想が逃げてしまう。数字なら商売仲間とみてくれる。ご名算となったところで京都でした」。

服部さんは先日亡くなったから、生前に収録したものだろう。「青い山脈」と並ぶ戦後のヒット曲「東京ブギウギ」も、中央線の電車のつり革が揺れるのに最初の8小節を思いつき、駅前の店に駆け込んでナブキンに書きつけた。電車の中で曲をひねる名人らしい。

国民栄誉賞を贈られた作曲家は、古賀政男に続いて服部さんが二人目。二人は昭和歌謡史の二大巨峰だが、作風は違う。古賀メロデ

ィーを哀愁を帯びた純日本調だとすれば、服部メロディーはジャズの感覚も取り入れた和魂洋才型だろう。

「東京ブギウギ」や「青い山脈」の明るく健康的な歌声は、暗い時代が長く続いたために私たちが忘れかけていた青春を復活させてくれた。ご冥福を祈りたい。



(平成5年3月8日の毎日新聞「余録」に掲載された記事から転載しました)

How To Enjoy Ensemble (9)

白鳥達夫

星の世界

C.C. Converse

♩ = 88

高	4/4	5 · <u>56531</u>		1 - 6̣ 0		5̣ · <u>13153</u>		2 - · 0
中	4/4	1 - - -		1 - - -		1 - - -		7̣ 4 3 2
和	4/4	0 C / /		0 F / /		0 C / /		0 G ₇ / /
低	4/4	1 - · 0		4 - · 0		1 - · 0		5 - · 0

5 · <u>5</u> <u>6531</u>		1 - 6̣ 0		5̣ · <u>1</u> <u>3217̣</u>		1 - · 0
1 - - -		1 - - -		3 - 5 4		3 - · 0
0 C / /		0 F / /		0 C 0 G ₇		0 C / /
1 - · 0		4 - · 0		5 - 5̣ -		1 - · 0

2 · * <u>1</u> <u>2342</u>		3 - 5̣ 0		6 · <u>6</u> <u>5343</u>		2 - · 0
7̣ · * <u>6̣</u> <u>7̣127̣</u>		1 - 1 0		1 · <u>1</u> <u>3121</u>		7̣ 7̣ 1 2
0 G ₇ / /		0 C / /		0 F 0 C		0 G ₇ / /
5̣ - · 0		1 - · 0		4 - 1 -		5̣ 4 3 2

5 · <u>5</u> <u>6531</u>		1 - 6̣ -		5̣ · <u>1</u> <u>3217̣</u>		1 - · 0
3 · <u>3</u> <u>4353</u>		4 - 1 -		1 · <u>3</u> <u>5432</u>		3 - · 0
0 C / /		0 F / /		0 C / G ₇		0 C / 0
1 - · 0		4 - · 0		5 - 5̣ -		1 - · 0

前号で色々分析しました「星の世界」を、以上のようにまとめて見ました。どうぞ実際に演奏して見て、メロディとリズムに対して中音の担当するバックハーモニーやカウンターメロディの面白さを体験して下さい。

5 <u>7 0 7 0</u>	5 <u>2̇ 6̇ 2̇ 5̇ 2̇</u>	6 <u>2̇ 5̇ 2̇ 6̇ 2̇</u>	5 <u>1̇ 0 1̇ 0</u>	∕
sf 4 <u>4 0 4 0</u>	P 4 - .	4 - .	sf 3 <u>3 0 3 0</u>	∕
0 G ₇ /	∕	∕	0 C /	∕
5 0 0	P 2 0 0	5 0 0	1 0 0	5 0 0
1 <u>5 2 5 1 5</u>	2 <u>5 1 5 2 5</u>	1 <u>4 2 4 1 4</u>	2 <u>4 1 4 2 4</u>	3 <u>5 3 5 3 5</u>
P #6 - .	6 - .	#6 - .	6 - #5	#5 - .
0 G ₇ /	∕	0 F /	0 F Fm	0 C /
P 1 0 0	∕	4 0 0	∕	5 0 0
4 <u>5 4 5 4 5</u>	3 <u>5 3 5 3 5</u>	1̇ 0 0 -	:S: Coda	
7 - -	1 - .	1̇ 0 0 -	1 0 0	1 0 0
0 G ₇ /	0 C /	C 0 0 -	C 0 0	C 0 0
5 0 0	1 0 0	1̇ 0 0 -	1 0 0	1 0 0

D.S.

中音パートは地味な伴奏音だけでなく、この「スケーターズ・ワルツ」の **A** の部分のように、高音パートと同じメロディをオクターブ下に重ねてユニゾンでメロディを強調したり、また次の「オールド・ブラック・ジョー」の初めの部分のようにメロディの方を担当し、高音パートが逆に和音的な動きをすることもあります。

オールド・ブラック・ジョー

S. C. フォスター

Moderato

高 4/4	1 <u>1·2</u> 3 <u>0 3 3</u>	4 6 5 4 3 -	1 <u>1·2</u> 3 <u>0 3 3</u>	4 3 <u>2·1</u> 7 -
P				
中 4/4	1 <u>3·4</u> 5 <u>0 5 5</u>	6 1̇ 7 6 5 -	1 <u>3·4</u> 5 <u>0 5 5</u>	6 5 <u>4·3</u> 2 -
和 4/4	0 C // 0 // //	0 F // 0 C //	0 C // 0 // //	0 F 0 / 0 G ₇ //
P				
低 4/4	1 0 1 0	4 0 1 0	1 0 1 0	4 4 5 -